

子育てコラム

親子の

コミュニケーションを
しっかりと

みなさん、家庭内の親子関係はうまくいっていますか。コミュニケーションは取れていますか。

親子のコミュニケーションは、赤ちゃんが生まれておっぱいをあげながら目と目をあわせるところから始まります。お母さんは、赤ちゃんの目を見て語りかけ微笑みかけ、授乳のたびにそれを繰り返して、親子の信頼関係の基礎を作っていきます。少し大きくなって赤ちゃんが、話しかけるような声を出すようになると、親はその気持ちを理解しようとして様子を見ながら「そう、なんだね。」と自然に語りかけています。そして、だんだん大きくなって言葉を話せるようになり、いよいよ会話によるコミュニケーションが始まります。

ところが最近、携帯のメールをしながらおっぱいを飲ませたり、



子どもが話しかけているのにメールに夢中だったり、レストランなどで子どもと向き合っているにもかかわらず、ずっと携帯をみている保護者が出てきています。ほかにも毎日の生活が忙しく、子どもと話をする暇がないということなどで親子のコミュニケーションが阻害されてしまうことがあるかもしれません。

何が原因であっても、こういうことが積み重なってくると、子どもと親との信頼関係にも悪影響を及ぼします。子どもからみたら、親にとって自分は大事な存在ではないのだというように思えるでしょう。

すると、子ども自身が自分に自信が持てなくなったり、どうせ話しても聞いてくれないと思ってしまう。話をしなくなってしまうことがあります。

そういう親子関係ではコミュニケーションがうまく取れない子に育ってしまう可能性があるばかりではなく、思春期以降に問題行動が出てくることにもなりかねません。

子どもは本来、親に話したいこと、聞いてもらいたいことがたくさんあります。特に今は子ども達にとって、入学・進級などで環境が変わる時期です。話の種はたくさんあります。ぜひ子どもの生活や気持ちに関心を持って話しかけてみてください。根掘り葉掘り聞くのではなく、子どもが言ったことに対して共感の気持ちを持って聞いてあげることが大切です。家でコミュニケーションがしっかりとれていれば、学校でも友達とうまくコミュニケーションがとれるでしょう。

現在、学生の就職活動はたいへん厳しい状況にあります。そんななかでコミュニケーション能力がとても重要だと言われています。就職試験の段階でいきなりコミュニケーション能力といわれても困ってしまいますね。子どもの時から日々の生活の中で相手の気持ちを考えたり、自分の意思を伝えたり、けんかをして仲直りをしたり、そういうことを繰り返してコミュニケーション能力が高まっていくのではないのでしょうか。

そして、そのコミュニケーションの第1歩は家庭での会話から始まります。

家庭教育指導員 加瀬桂子
※市では、子育て相談を受け付けています。

子育てで悩んだ時、困った時、不安になった時など子育てに関することならどんなことでも気軽に相談ください。

相談電話 ☎(80)1456

受付時間 月・水・木・金曜日
(水曜の午後・祝祭日を除く)
午前9時～午後4時半
(教育委員会生涯学習課)

就学援助制度のお知らせ

小中学校に通われるお子さんがいらっしゃるご家庭で、経済的な理由により学習に必要な文房具や教材、給食などの費用の負担に困りの場合、その費用の一部を援助しています。援助を受けるには、申請手続きが必要となります。詳しくは、学校教育課または各学校までお問い合わせください。

問 学校教育課学事係

☎(80)1442
または各小中学校